

「ジャクピランガ託児所改修・増築計画」 供与式



記念プレートの除幕をする総領事夫妻、
イシダ会長および市長夫妻



>プレートにお礼の言葉を記し、
子供たちからの感謝の表現

2007年4月19日、サンパウロ州ジャクピランガ市にて、草の根・人間の安全保障無償資金協力による、ジャクピランガ社会福祉共同体（以下 ACASO）が経営する託児所の改修・増築の供与式が行われました。

式典には西林総領事夫妻、イシダ・ユタカ ACASO 会長、ジョアン・バチスタ・デ・アンドラーデ市長夫妻をはじめ、団体の関係者等約60名が出席しました。

西林総領事は「今般の無償資金協力により、施設を改修することで、園児が安全で衛生的な環境で過ごすことができるようになり、また、保護者も安心して働けるようになることを期待する。」と挨拶しました。

続いて、イシダ会長は「団体の目標である子ども達によい食事、安全な施設、愛情を与えるためには施設の改修によるインフラ整備は不可欠であり、今回日本国政府の協力により実現することができた。日本国政府の協力が地元社会、政府の手本となり、今後も当団体の活動を支援してくれることを期待している。」と謝意を表しました。

最後にアンドラーデ市長からも日本国政府の協力に対して感謝の言葉が述べられました。

この後、園児達からのお礼、記念プレートの除幕式が行われました。

案件名： ジャクピランガ託児所改修・増築計画
被供与団体： ジャクピランガ社会福祉共同体（ACASO）
プロジェクト実施地： サンパウロ州ジャクピランガ市
契約署名日： 2006年8月11日

供与限度額：約 19 万リアル

案件概要：ジャクピランガ市はサンパウロ市の南西 260 キロに位置する人口 1 万 8 千人の低所得者層が多いところですが、同団体は乳幼児の世話が出来ない労働家庭の生後 3 ヶ月から 6 歳未満の児童を対象とした託児サービスを市と連携し無料で行っています。しかし、1987 年に建設された施設は浸食のため破損が著しく、安全面の問題が生じてきました。一方、設備面では衛生基準に沿っていないといった問題を抱えていました。

供与品目：施設改修及び増築 349 平米（台所、食堂、洗濯場、倉庫等）



改修・増築後の新しい施設



衛生基準を満たす新しい食堂に集まる園児